

ピーター・ブルーネ

P e t e r B r u n e

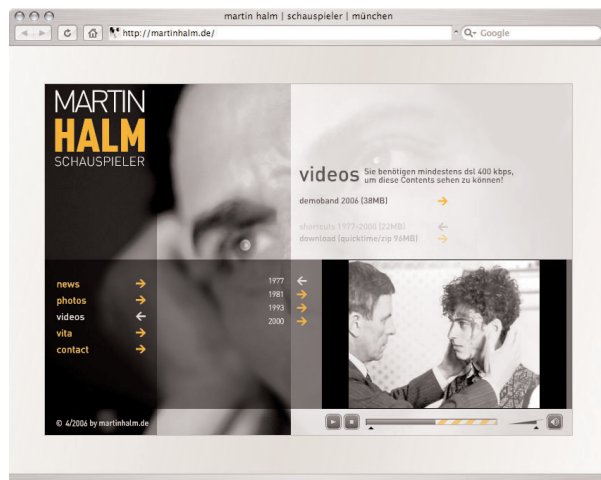
デザイナー／写真家

写真はスタティック、Webはオーガニック

デザインと写真が近いように、アートディレクターと写真家は別の職業だが、存在的にはすごく近い。両者の視点の違いを解き明かすために、デザイナーと写真家ふたつの視点をもつ男、ピーター・ブルーネに登場してもらおう。彼はWebデザイナーだが、もともとは写真家という変わり種だ。特にWebという、いたってデジタルなデザインを扱う彼の視点には興味をそそられる。写真とWebデザインの違いを語る彼の言葉に耳を傾けてみよう。



「夏木マリ事務所」Webサイト
デザイン・プログラム



「martin halm | schauspieler | münchen」Webサイト
デザイン・プログラム



僕は1987年に東ドイツにいた頃に独学で写真学を学び、それ以来ずっと写真を撮っていました。Webデザイナーになったのは偶然。自分のページで写真を公開したいから、独学でPhotoshopを勉強していたらプロになっちゃった。これは本当の話。いまはほとんどWebデザインが仕事だけれど、気持的にはいまでもフォトグラファーです。

写真はポートレートが一番好き。よいポートレートは、何年後かに見ても同じ気持ちで湧き上がってくる。これは写真で一番大事なこと。カメラはあくまでクリエイティブのヘルパーであってペンと同じ。重要なのはテーマとか、経験とか気持ち。例えば僕がポートレートを撮るときは、相手とのコミュニケーションを重視する。だいたい2時間くらいコーヒーを飲みながらいろいろ話をしてから撮り始めるよ。ジャンピング・アンド・コールドウォーター（ドイツ語で突然という意味）はやらない。人にはマスクがあるじゃない、笑顔とか。そのマスクを取るためにはコミュニケーションが大事で、いきなりよいポートレートは撮れないよ。

僕の写真のアイドルは、アウグスト・ザンダースとうちのお祖母ちゃん。お祖母ちゃんは写真をたくさん撮っていて、子供のころそれを見てすごいと思った。写真のすばらしさは「一瞬を一枚の紙に封じ込める」ことだけれど、そのとき見た写真には20歳のお祖母ちゃんがそのまま封じ込められていた。写真とWebの違いもまさにそれで、写真は「ステイック」でWebは「オーガニック」であること。Webはアクセスするたびに色が変わるとか、Facebookムービーが流れるとか生きている。つまり、オーガニック。その反対はステイック。写真は時間がそこに定着して止まっているよね、つまりステイックであってオーガニックじゃない。これはすごい違いなんだよ。あと、パッション。写真家でもデザイナーでもそれは、重要なポイントだと思う。

ピーター・ブルーネ／1964年ベルリン生まれ。87年から写真家として雑誌で活動。90年にパリに移住、グルジア、インドなどを訪問、雑誌に写真や文章を寄稿。97年からWebデザインを始め。フンボルト大学にて日本学、映画学を専攻。2000年から東京に滞在、マガジンハウスやウォーターデザインスコープで活躍。6カ国語を操る。<http://piichi.com/> <http://peterbrune.com/>